

トヨタ紡織、北京国際モーターショーに出展

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、2018年4月25日（水）から5月4日（金）に開催される「第15回北京国際モーターショー（Auto China 2018）」（中国 北京市）に出展します。

2012年の初出展以来、第4回目の出展となる今回は、“QUALITY OF TIME AND SPACE”をテーマに、極上のくつろぎや快適性を体感できるシート、内装部品に加え、中国で生産する製品も数多く展示します。

また、成長著しい中国市場において電気自動車や燃料電池自動車など次世代自動車へのシフトが加速することを重視し、独自の精密プレス加工技術で生産を実現したハイブリッドシステム用モーターコアや燃料電池関連部品を紹介します。

トヨタ紡織は、中国地域を統括する豊田紡織(中国)有限公司において、製品設計から評価まで一貫した開発体制を整えています。世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として、各地域のお客様のニーズに応える製品開発に取り組んでいます。

1. 主な展示品

- 1) 極上のくつろぎと快適性を追求し、LEXUS LS に搭載されたシートやドアトリム
- 2) 表皮一体発泡工法により、先進的なデザインと高い乗り心地を両立し、LEXUS LC に搭載されたシート
- 3) 中国で生産のトヨタ新型カマリのシート、ドアトリムなど内装部品【初出展】
- 4) 燃料電池自動車 MIRAI に搭載された内装部品や燃料電池関連部品
- 5) 高効率・高性能のフィルター製品



2. 出展場所

中国国際展覧センター W1ホール、ブース番号：W03